

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【公開番号】特開 2018-159352 (P2018-159352A)
 【公開日】平成 30 年 10 月 11 日 (2018.10.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-039
 【出願番号】特願 2017-57944 (P2017-57944)
 【国際特許分類】

F 0 3 G 7/06 (2006.01)

【F I】

F 0 3 G	7/06	G
F 0 3 G	7/06	E

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 16 日 (2019.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

エネルギーの増減によって変形を生じるアクチュエータ素子 (41、42) と、
 前記アクチュエータ素子と連結された被駆動体 (31) とを備え、
 前記アクチュエータ素子は、
 前記変形を生じる素材線 (41a) と、
 前記素材線のエネルギーを増減させるエネルギー伝達部品であって、前記アクチュエータ素子のアクチュエータ軸に沿って往復状に配置されたエネルギー伝達部品 (41d、341d、441d、541d、741d、841d) とを備え、
前記アクチュエータ素子は、前記被駆動体に対して対称的に配置され、逆方向に変形する 2 つの前記アクチュエータ素子を備える可動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

ここに開示された可動装置は、エネルギーの増減によって変形を生じるアクチュエータ素子 (41、42) と、アクチュエータ素子と連結された被駆動体 (31) とを備え、アクチュエータ素子は、変形を生じる素材線 (41a) と、素材線のエネルギーを増減させるエネルギー伝達部品であって、アクチュエータ素子のアクチュエータ軸に沿って往復状に配置されたエネルギー伝達部品 (41d、341d、441d、541d、741d、841d) とを備え、アクチュエータ素子は、被駆動体に対して対称的に配置され、逆方向に変形する 2 つのアクチュエータ素子を備える。